

作成：平成 18 年 12 月 11 日

修正：平成 27 年 9 月 30 日

X-Spam-Status 型迷惑メール対策サービスの利用手引き

目次

1.	サービスの概要.....	1
2.	運用方針	1
3.	留意事項	2
4.	設定に必要な情報.....	2
5.	Active!mail における設定	3

1. サービスの概要

本学では迷惑メール対策装置（以下「装置」という。）を導入し、X-Spam-Status 型迷惑メール対策サービス（以下「本サービス」という。）を提供しています。

装置はメールの情報を機械的に判定し、迷惑メールの可能性が高いと判定したときは、メール（メールヘッダ）に特定の目印を付けます。そして、迷惑メールと判定したメールも含め、全てのメールを利用者に配送しています。

本サービスは、この目印を使い迷惑メールを別のフォルダに振り分けられるようにし、より使いやすいメール環境を提供することを目的としています。

2. 運用方針

本サービスにおいて装置が迷惑メールと判断した場合にメールを拒否することも可能です。しかし、現時点(平成 27 年 9 月)での迷惑メール対策技術において、迷惑メールを 100% の確率で判定することは難しいと判断し、迷惑メールと判定したメールヘッダに特定の目印を付け、全てのメールを利用者に配送し、正常なメールと迷惑メールとの最終的な判断を利用者で行えるようサービスを提供しています。今後、迷惑メール対策技術が進歩し、確実に判定できるようになった場合、本サービスを変更していきます。

3. 留意事項

本サービスを利用するにあたり、次の事項に留意してください。

- 本サービスは正常なメールと迷惑メールとを見分けやすくし、本学のメール環境を使いやすくするためにサービスを提供するものです。
- 迷惑メールを受け取らないためには、Web ページでメールアドレスを公開することを避けるなどの予防対策を行ってください。
- 本サービスは、完全な迷惑メール判定を保証するものではありません。フォルダに振り分けた迷惑メールを削除する前に、必要なメールがないことを確認してください。

4. 設定に必要な情報

本サービスは「固有のメールヘッダの内容を条件に振り分けする」機能があるメールソフトをお使いの場合に利用できます。

装置が迷惑メールと判断したときにメールヘッダに付ける目印は次の文字列です。

「X-Spam-Status: Yes」（全て半角で「:」と「Yes」の間にスペースがあります。）

上記の文字列を振り分け条件に登録すると本サービスを利用できます。

主なメールソフトにおける振り分け設定の場所は以下のとおりです。

Active!mail	「ツール」>「フィルタリング(振り分け)」
Outlook	「ツール」>「自動仕訳ウィザード」
Becky!	「ツール」>「フィルタリングマネージャ」
Sylpheed	「設定」>「振り分けの設定」
Thunderbird	「ツール」>「メッセージフィルタ」

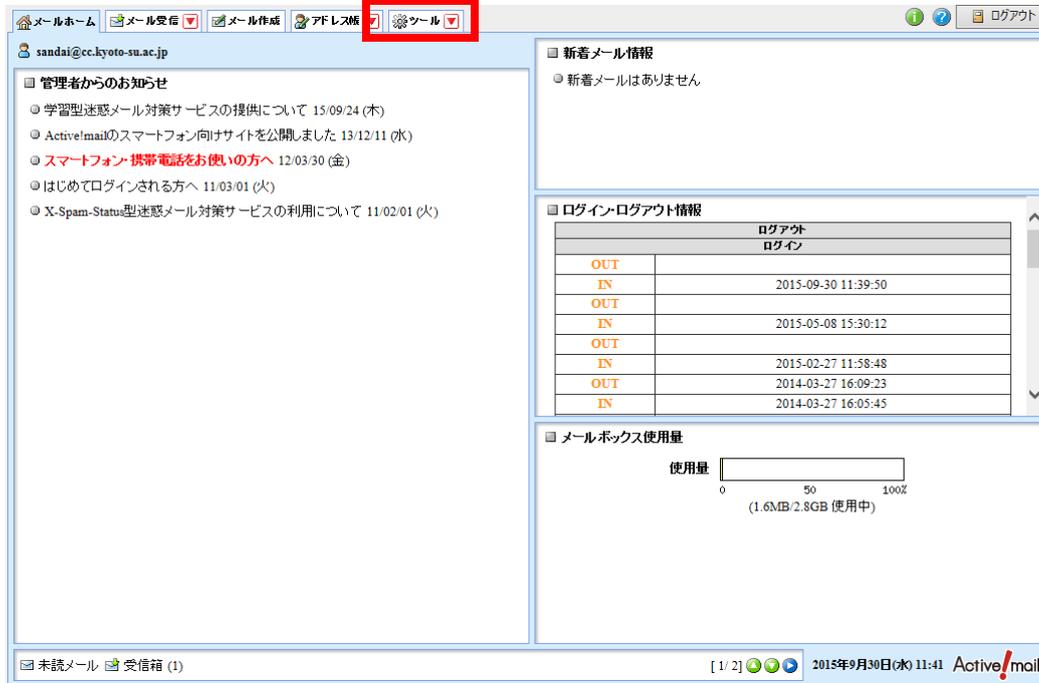
なお、OutlookExpress、Windows Mail ではメールヘッダによる振り分け設定ができません。本サービスを利用できませんので、ご注意ください。（※平成 23 年 3 月現在）

次に具体的な設定の例として Active!mail における設定方法を紹介します。

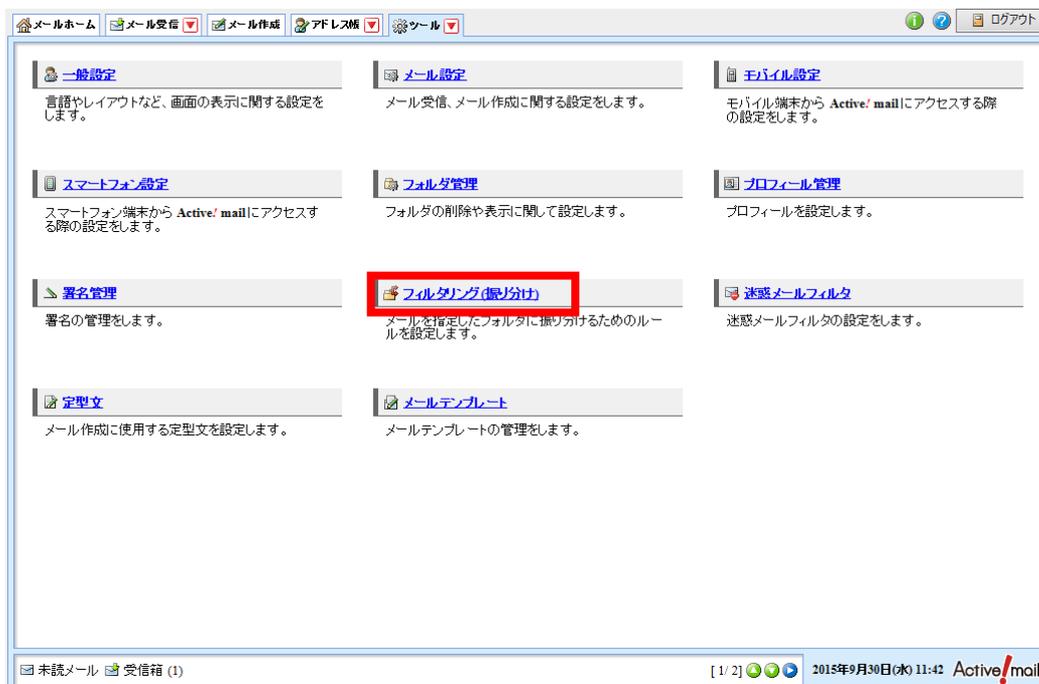
※なお 2011 年 4 月以降、Active!mail において本サービスは設定済みとなっております。ユーザ自身で設定を解除した場合など、再設定する場合に参考にしてください。

5. Active!mail における設定

(1) 「Active!mail」トップ画面から、「ツール」アイコンをクリックしてください。



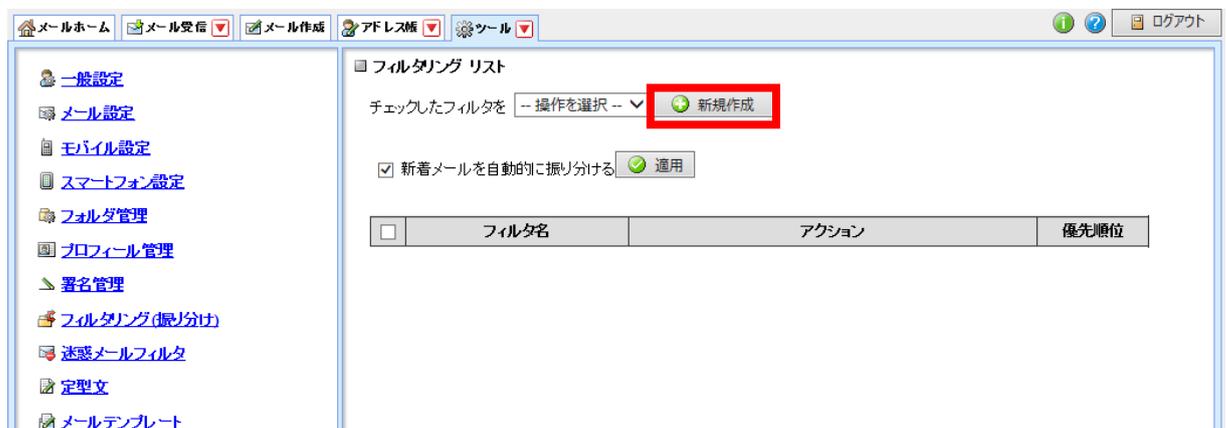
(2) 「フィルタリング(振り分け)」リンクをクリックしてください。



- (3) 「新着メールを自動的に振り分ける」にチェックを入れ、「適用」ボタンをクリックしてください。



- (4) 「新規作成」ボタンをクリックしてください。



(5) 下記の手順に従い、設定してください。

■ フィルタリング 新規作成

*: 必須入力

設定名*	<input type="text" value="迷惑メール"/>
条件設定*	<input checked="" type="radio"/> 全ての条件に一致 <input type="radio"/> いずれかの条件に一致 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <input type="text" value="指定のHeader"/> ▼ <input type="text" value="X-Spam-Status"/> に <input type="text" value="Yes"/> <input type="text" value="を含む項目"/> ▼ </div>
アクション*	<input checked="" type="radio"/> 迷惑メールフォルダに移動 <input type="radio"/> フラグを付加 <input type="radio"/> 正常なメールとして扱う <input type="radio"/> ごみ箱に移動 <input type="radio"/> 次のフォルダに移動 ▼ フォルダ選択

- ① 設定名：「迷惑メール」など分かりやすい名前にします。
- ② 条件設定：
 - ・「全ての条件に一致」を選択します。
 - ・「指定の Header」を選択します。
 - ・「X-Spam-Status」と入力します。
 - ・「Yes」と入力します。
 - ・「を含む項目」を選択します。
- ③ アクション：「迷惑メールフォルダに移動」を選択します。
- ④ 「OK」ボタンをクリックします。

以上の作業で、「指定の Header」「X-Spam-Status」に「Yes」「を含む」メールを「迷惑メールフォルダへ移動」させることができます。

(6) 登録した内容が一覧で表示されると終了です。

The screenshot shows the 'フィルタリング リスト' (Filtering List) section of an email management interface. A table lists the created filter rules. The first rule, '迷惑メール', is highlighted with a red box. The table has columns for 'フィルタ名' (Filter Name), 'アクション' (Action), and '優先順位' (Priority).

フィルタ名	アクション	優先順位
迷惑メール	迷惑メールフォルダに移動	↑ ↓